

# 庄瀬小C・S通信

## 第4回学校運営協議会報告



2.19 (金) 庄瀬小学校会議室にて

【次第】

- 1 開会挨拶 中丸会長
- 2 後期学校評価 高島校長、坂上教頭
- 3 地域と学校パートナーシップ事業  
小林教務主任
- 4 次年度学校運営の基本方針 高島校長
- 5 『協働』3つの提案 細河委員
- 6 閉会挨拶 田中副会長

12名の委員の参加を得て上記の内容で90分間にわたる熱心な協議が行われました。ここでは、今回承認された次年度教育ビジョンの骨子と、それを支えるために**地域総がかり**で取り組む『協働』についてお知らせします。

### 1. 進んで学ぶ子 (知)

子ども同士かかわり合いながら、進んで学習に取り組む授業づくりを進める。さらに、授業の「振り返り」の場を設定することで、自身の学びを自覚させる。

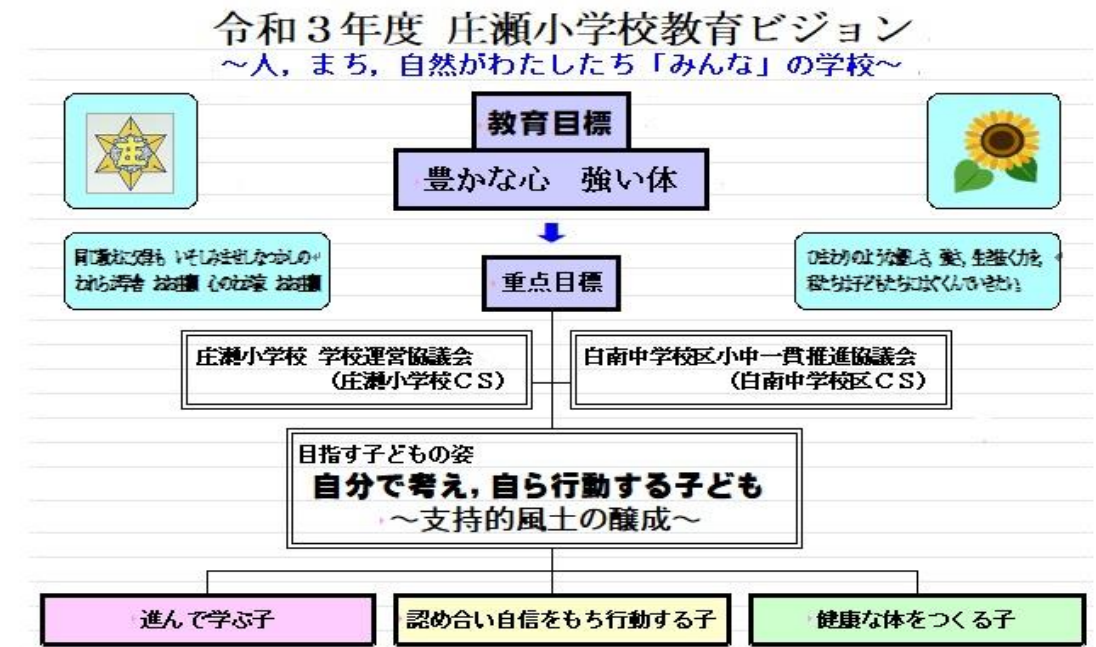
### 2. 認め合い自信をもち

#### 行動する子 (徳)

週1回のひまわりタイムを実施し、縦割り班活動やペア活動を行う。また活動の中で「相談タイム」や「ほめほめタイム」などの場を設定し、リーダーやフォロワーとしての**自己有用感**を高める。

### 3. 健康な体をつくる子 (体)

個人の目標カードを工夫し、体力向上を図る。運動する楽しさを実感できるように、子ども同士のかかわり合いや**十分な運動量**を大切



## 令和3年度の教育ビジョンが承認されました

にした授業づくりを進める。「健康あっぷカード」を工夫し、個に応じた指導を大切にし特に**メディアの視聴時間**の改善を家庭に働きかける。

新時代に向けての取組

- ・ 小学校 外国語教育
- ・ ICT教育活動 (オンライン学習 職員研修 等)
- ・ プログラミング学習

※ 外部講師、他校等との連携をとおして

- (2) **地域課題**を総合的な学習の時間に地域が取り組む課題を「福祉学習」に取り入れる。
- ・ 「地域福祉アクションプラン」
  - ・ 「支え合いのしくみづくり」
  - ・ 「高齢者ケア」
  - ・ 「防災と地域福祉」

- (3) 『自己肯定感』を**地域でも**今年度はその多くが実施できなかった数々の地域行事・活動でしたが、実施の際には、そこに子どもたちの**出番**をつくり、準備から後始末までその取組の**姿**をよく見て、今までより一層褒めて関わる。

ここに関連して、中丸会長より次の2点が提案されました。

### 4. 『協働』3つの提案

※本提案は、学区内の3小学校運営協議会にもあわせて行われたものである。

#### (1) PTAで「GIGAホーム」

新年度から本格実施される「新潟市GIGAスクール構想」を保護者が家庭から応援する。例えば「親子**タブレット**学習会」「情報**モラル**研修」といったテーマで学年行事や保護者会を開く。

- ① **子ども顕彰制度の創設**  
子ども一人一人の成長(記録・出来事)を記録に残し、その中から顕著なものについて地域で表彰する。
- ② 「絆(きずな)メール」事業の新設  
コロナ禍、疎遠になりがちな縁者に子どもたちから近況を知らせる内容の葉書を送る。